

女性と社会のつながり支援

地域の実情と課題

- ・コロナ禍において、生活環境の変化、女性が多い非正規労働者の収入減による将来への不安、DV被害の増加や深刻化の懸念など、女性を取り巻く様々な困難さが増大している。また、外出自粛などにより社会とのつながりが希薄になり、女性の自殺者が増加するなど、女性への影響が深刻化している。
- ・不安を抱える女性が、社会とのつながりを回復するために、NPO等民間団体の知見や能力を活用したきめ細かい支援が必要。

目的・目標

コロナ禍において不安を抱える女性が、社会とのつながりを回復することを目指す。

事業の特徴

NPO等民間団体の知見や能力を活用したきめ細かい支援

事業の効果

街頭等で約1,400人以上の女性に対して声かけを実施するなど、積極的にアウトリーチを実施。生活保護の申請手続きに同行する等、専門機関への同行支援を行い、コロナ禍で不安を抱える女性に寄り添った支援を実施した。

連携団体

つながりサポート団体等連絡会議

今後の課題

困難を抱える女性へ支援を届けるために、街頭等での声掛けだけでなく、子ども食堂やフードバンク等の既存の支援団体との連携を強化し、効果的なアプローチをしていくことが必要である。
また、困難を抱える女性が気軽に相談できるよう、当事業についてのさらなる広報・周知が課題。

女性と社会のつながり支援

コロナ禍において不安を抱える女性が、社会とのつながりを回復することができるよう、NPO等民間団体の知見や能力を活用したきめ細かい支援を実施。

(1) アウトリーチ型相談支援

街頭声掛け、メールやSNSによる相談支援、面談、就労支援や生活支援を行う専門機関へのつなぎ

(2) 居場所の提供

相談会・交流会の実施

(3) 生理用品の提供

支援の対象となる女性に対して、相談支援の一環として生理用品を提供



事業チラシ



周知カード

表

裏